

令和3年度事業計画

特定非営利活動法人ゆう

ゆうの理念「ありのままに自分らしく・・・」

- ◇スペシャルニーズのある方の想いに沿ったサポートをします。
- ◇スペシャルニーズのある方に暖かいまちづくりを目指します。
- ◇スペシャルニーズのある方の支援を、ご家族とともに考えていきます。
- ◇スペシャルニーズに関する情報発信とネットワーク作りをします。

はじめに

NPO法人ゆうは、「ありのままに自分らしく」を理念に掲げ、知的障がい、自閉症スペクトラムなどのスペシャルニーズのある方々とその家族が地域の中で、ありのままに自分らしく過ごすためのまちづくりを行っています。法人が設立して18年目を迎えました。

NPO法人ゆうでは、支援をしていく際に大事にしている大切な考えがあります。それは、支援は当事者の理解から始めるということです。その方が「どう考え、どう理解しているか」をまず考えることを支援のスタートラインとして、支援を行います。まずは、知ることからです。実際に、ゆうでは、人とのコミュニケーション力を児童期から育て、自分らしい暮らしに結びつけるために、利用者の言動から、その方の意思をしっかりとくみ取る支援を続けてきました。そして今、幼少期の発達障がいの気づきの段階から、成人期の余暇・暮らしの支援まで、ありのままに自分らしく暮らすための一連の支援体制に向けて着実に歩んでいます。

中期計画は「ありのままに自分らしく生き ありのままに自分らしく逝く」をキーワードに、スペシャルニーズのある方々が自分らしく地域で生活し続けるための取り組みが目標となっています。生まれてから亡くなるまで、その方が、自分らしく過ごしていくために必要な資源の一つであるグループホームの検討にもとりかかっています。

今年度は、多くの方の協力で、法人の拠点を整備するための施設建設が始まります。施設建設で掲げたテーマは、『顔の見える施設』です。地域の方やスタッフ、家族、利用者が、お互いに交流ができるような施設を目指しています。来年度の開所を目指し、今年度の着工を予定しています。スタッフの実践を、地域の方に知っていただく拠点にもなります。今から楽しみです。

私たちは揺るがない理念として、「ありのままに自分らしく」を柱に活動を行っています。一人ひとりの障がい理解をしっかりと行い、配慮をしていきます。また、科学的に実証された方法を用い、家族の思いを聴きサポートをしていきます。こうした取り組みを地域に発信していくことで、地域の方々とともにスペシャルニーズのある方が自分らしく暮らすことのできるまちづくりをしていきます。

令和3年度も、みんなの力を合わせスペシャルニーズのある方が自分を表現できる環境の中で成長し、その人らしさが尊重され、強みを生かしたサポートがされることで、笑顔で生き生きと生活できる素敵な街になっていくように頑張っていきたいと思っています。

令和3年5月29日

理事長 豊田和浩

法人概要

1. 法人名称 特定非営利活動法人 ゆう
2. 法人本部 愛知県豊川市金屋元町一丁目 60 番地 1
3. 連絡先 TEL:0533-65-8325 FAX:0533-65-8326
E-mail: info@npo-you.or.jp
4. 法人認可年月日 平成 16 年 2 月 9 日
5. 特定非営利活動法における特定非営利活動の種類
 - ① 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
 - ② 社会教育の推進を図る活動
 - ③ 子どもの健全育成を図る活動
6. 定款に掲げる事業
 - ① 短期預かり事業
 - ② 福祉移送事業
 - ③ 福祉啓発事業
 - ④ 余暇文化活動援助事業
 - ⑤ 障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障がい福祉サービス事業及び同法に基づく相談支援事業、並びに地域生活支援事業
 - ⑥ 児童福祉法に基づく障がい児通所支援事業及び同法に基づく相談支援事業
7. 役員体制
理事長 豊田和浩
理事 8 名
監事 1 名
8. 会員数
正会員 30 名
利用会員 158 名（利用会員 120 名 家族会員 31 名 団体会員 7 名）
賛助会員 51 名
9. 運営事業（組織図参照）
10. スタッフの体制
常勤 29 名 非常勤 22 名 登録ヘルパー 2 名

中長期計画

ゆうの長期的展望

社会情勢を踏まえると少子高齢化や経済の低迷などにより、福祉にとってもより厳しい時代となっている。法人を発展継続させ、「ありのままに自分らしいまちづくり」を進めるためには、何が必要か検討した。その大きな課題は、地域への還元力である。地域社会で必要とされる法人となるために以下のことを柱に据えた。

- 質の高い支援を提供し、専門研修体制を地域に還元する
- 理論的な支援の提供による実績の積み上げ
- 地域にないサービスの具体化、モデル発信
- 地域で他事業所や行政を巻き込みながら地域づくりをはかる

こうした情勢の中で、NPO法人ゆうは事業の対象を絞り専門性を高めることで、地域社会への還元力やアピール力を高めていくことを確認した。ゆうの専門性として目指すのは「知的障がい・自閉症スペクトラム」に関するものである。こうした専門性をより発展させながら「ありのままに自分らしく」を目指して、サービスを展開していくことで地域の中でのゆうの役割を明確にしていく。

第3期中長期計画 (別紙参照)

これまでの、検討委員会の中で次期中長期計画のキーワードを「ありのままに自分らしく生き ありのままに自分らしく逝く」と定めた。運営委員会で検討を重ねてきた中で下記の取り組みが優先度の高い取り組みとして挙げられた。これを基に第2期中長期計画を策定した。

1. 生活介護事業の充実 (受け入れの拡充・専門性の向上・活動内容の充実・医療との連携)
2. 人員の確保・次世代の育成 (スタッフ育成のシステム作り)
3. その人らしい暮らしの場の提供 (グループホーム・ひとり暮らし・自宅・ルームシェア)
4. 児童期の療育・余暇プログラム整備 (放課後等デイ・SST・私的イベント・LST・PECS)
5. 隙間の支援 (在宅・不登校・緊急時・なんでも相談・高機能)
6. 親の会や当事者の会・後援会など、支えていただく組織の立ち上げ
7. その他
 - 男性が働き続けられる環境・常勤職員の給与アップ
 - 児童発達支援事業所の整備、環境改善・受け入れの拡充
 - 利用者・スタッフ・保護者・地域住人も一緒にイベント企画、活動拠点整備
 - 地域での学習会の展開をより公的な形で行う
 - 宿泊型の児童の訓練プログラム
 - 自己所有物件など拠点の整備

本年度事業の取り組み（短期目標）

- 後援会組織の立ち上げ
- グループホーム建設準備プロジェクト

令和3年度法人事業方針

昨年度に引き続き下記の項目を重点に掲げ事業運営を行う。

施設建設

会員・利用者・家族・スタッフと協議を行い、ゆーらしい施設の建設を進める。グループホームの検討を開始する。

各事業の運営体制強化

生活支援部と発達支援部に組織を分け、業務分担を整理・明確化し、各責任者が自己判断をできる体制を整える。スタッフ間・事業所間のコミュニケーションや情報の共有が円滑にできるように、会議や現場責任者会議、スタッフ研修などを通して取り組んでいく。分野別研修で中堅職員のサービス管理力の向上を図る。

働きやすさの環境づくり

法人の事務機能・労務機能の仕組みの見える化を進め、スタッフの働きやすさにつなげていく。

人材育成、獲得

新たな人材獲得のための経路を開拓し、今後の事業を担う人材の積極的な獲得に努めていく。

NPOらしい活動を考える

より豊かな暮らしを実現するため、福祉サービスにとらわれないまちづくりの活動を意識して取り組んでいく。

福祉啓発部

福祉相談・個別療育相談・家庭療育指導

発達の特長や障がいのある方とその家族や支援者等に対して、療育相談・進路相談・福祉サービス等の利用相談・生活相談・福祉相談などを行う。

事業方針

- 相談内容としては発達に関わるもの、学校生活に関わるもの、生活上の工夫に関わるものとする
- 家族の想いに寄り添いながら、相談内容の整理、必要な情報の提供を行う
- 他機関との連携を心掛けながら、病院や教育委員会などと連携を図り、必要に応じて相談支援専門員に個別の支援会議を要請し、課題の整理を図る
- 福祉サービスの紹介等の課題の整理は無料とし、個別の療育相談や家庭での療育指導、支援者、当事者への支援などについては会員向けで有料とする

年間予定利用者数 有料相談 延べ月5名×12ヵ月 60名 予定時間数60時間

講師派遣・アドバイザー派遣・講演会等

東三河を中心とする地域で、発達の特長や障がいのある方と、その家族や支援者等の地域の関係者に対して、講演会、講師派遣やアドバイザーの派遣、啓発キャラバンの派遣を行う。

- 講師派遣
依頼のあった行政機関、福祉施設、親の会、学校等に講師を派遣する。近隣の依頼を中心とし、業務に負担のないようにする。
 - 本年度も豊川市子育て支援課主催のペアレントトレーニング講座、新城市子ども課に講師派遣を行う
- アドバイザー派遣
 - 本年度も新城市こども未来課に発達相談員の派遣を行う
- 障がい等の理解に関する研修会の実施

他団体の事務局委託

市民活動団体など他団体の連絡受付先などを本部で代理をし、他団体の事務活動を委託で行う。今年度受託予定は下記のとおり

ほのくに行動援護勉強会 ・ 穂の国 PECS サークル ・ 自閉症啓発キャラバン Swing
とよかわ TEACCH プログラム研究会

学習会・茶話会・交流会

利用会員向けに、地域での学びの場と情報交換の場を設け、身近な場での学びの場や交流の場を充実させる。

- まなびん
障がい特性や支援方法の基本的な視点などを講義し行う。新人研修を兼ねて行う。
- おうちでできるお膳立て
おうちでの「わかる」「できる」「伝わる」を増やして楽しい子育てをするために、子どもの特性に合わせた対応のコツや工夫を学ぶ。それぞれの子どもや家庭にあった構造化ができるように実践的なワーク形式の学習会を行う。
- ペアレントトレーニング
障がいのあるなしに関係なく、子どもを育てている親御さん向けの「子育て講座」。子どもの褒め方・効果的な指示の出し方を中心とした子どもの行動に関する実践的なワーク形式の学習会を行う。
- ゆうの庵
発達に特徴のある子どもを育てる親同士が集まって、同じ思いや悩みを共有しながら情報を得たり、今できることを考えていく茶話会。ゆう親の会「クローバーの会」主催。

イベント部

会員利用者やその家族に対して、ボランティア活動として余暇文化活動の援助を行う。会員やスタッフの有志で構成されたメンバーが企画・運営を行う。

- きょうだいの会
 - 障がいや発達に特性のあるきょうだいを持つ子どもたちのための会
 - 普段出来ない、いろいろな体験やきょうだいのことを普通に話せる友達づくりが目的
- ゆうキャラバン
 - 発達障がいなどのスペシャルニーズを持つ方のことを知ってもらうためのキャラバン隊を結成し、啓発活動を行う
 - 市内の小中学校で行われる福祉実践教室で講演を行う
- クローバーの会（ゆうの親の会）
- ゆうの利用者の作品展の実施
- その他（外部イベント参加・余暇イベント企画）
未定、企画が上がってきたら順次検討していく

直接支援部門

事業所名	ゆうヘルパーステーション	事業種別	行動援護、移動支援
住所	〒442-0066 豊川市金屋元町一丁目 60 番地 1		
TEL	0533-65-8325	E-mail	help@npo-you.or.jp
管理者	豊田 和浩	サービス提供責任者	門之園 由美
職員配置	3.0名（常勤換算）	予定利用者数	1ヶ月 約 50名
<p>事業の概要</p> <p>外出支援では、個別の手立てを準備し社会参加及び余暇の提供を中心に取り組む。支援の方向性や手立てを、本人・ご家族と確認し希望に沿えるように目標を立て取り組む。特に行動援護の利用者さんはご家族、相談員さん、他事業所と連携を取りながら利用者さんが求める「ありのままの暮らし」を地域全体で支える体制作りを目指し、日々の支援にはいる。支援を行って行く中で、支援の方向性や利用者さんとの関わり方などもヘルパー会議を通じスタッフ全体で共有・検討を図っており、「チーム」を意識して日々の業務に取り組んでいる。</p>			
事業所の基本方針	利用者さん・ご家族・地域の方々などすべての人と気持ちの良いコミュニケーションを心がけます。		
	利用者さんの笑顔があふれる外出計画をたてていきます。		
	利用者さんが自己決定、自己選択出来るように個別の手立てを考えます。		
	地域での生活をサポート出来るように他機関と連携しながら支援に臨みます。		
	本人、ご家族と共に利用者さんの将来を見据えた支援を共に考えていきます。		
事業所の重点目標	他事業所・相談員と連携しながら将来を見据えた具体的な支援の手立てを計画し、サービス提供を行います。		
	本人・ご家族と共に現状やニーズの共有、支援の方向性を一緒に考えていけるようにします。		
	法人内の生活支援部で利用者さんの現状やニーズを共有し、サポートしていけるようにします。		
	各スタッフがモチベーションと責任感を持って、日々の支援や業務に取り組めるよう業務内容の見直しを行います。		

事業所名	ゆうサポートセンター どーや	事業種別	生活介護
住所	〒442-0012 豊川市新豊町1丁目32番地		
TEL	0533-65-8762	E-mail	do-ya@npo-you.or.jp
管理者	岡部 祥子	サービス管理責任者	岡部 祥子
職員配置	5.7名（常勤換算）	予定利用者数	1日当たり平均7名
<p>事業の概要</p> <p>生活・就業上支援が必要な方に対して、働くことをベースに生活の充実を図るため、日中活動の場を提供します。地域で充実した生活を送るためのお手伝いをする場所であり、利用者のどや顔をたくさん作っていくことを目指します。</p> <p>また、“人生を有意義に過ごす”という視点で、その人にとって意味のある活動を考え、発見、学びとなる場の提供を目指します。</p> <p>ご家族とも交流を図る中で連携を取り、「暮らす」「余暇」「働く」の考えを中心に置き、生き生きとした自己肯定感や安心感を持って生活を送れるようサポートしていきます。</p>			
事業所の基本方針	1人1人に合った活動を提供し、1人1人の“出来た”や“達成感”を増やして、生活の充実を図る。		
	スタッフミーティングを定期的に行い、スタッフ間で意見、悩み、考え、方向性を共有しチームでご本人主体の支援にあたる。		
	イベント・ご家族との交流会を行い、楽しみながら利用者ご本人やそのご家族との関係を深めていく。		
	気持ちのいいコミュニケーションを心掛け、人と関わる楽しさを感じていただく。		
	他事業所・関係機関と連携を図り、地域での生活をサポートしていく。		
事業所の重点目標	充実感・達成感・楽しさを感じていただけるような活動・作業の提供を行う。 その中で利用者の「どや顔」を増やすようにしていく。		
	スタッフ間のミーティングを行い、情報や支援方法を共有し、みんなで支援を考え、進めていくことを意識していく。		
	ご本人の様子を深く観察し、ご家族・他事業所からも情報を得て、ニーズ把握をしっかりと行い、個別支援計画に反映させ支援にあたる。		
	仕事の効率化を図り、スタッフ一人一人が主体性と責任感をもち、仕事に対してモチベーションをもって取り組めるようにする。		
	新規利用者の安定した利用のための環境・活動作り。支援方法の共有。		

事業所名	ゆうサポートセンター ととこ	事業種別	児童発達支援
住所	〒442-0055 豊川市金屋橋町 37 カクオンC・D号室		
TEL	0533-65-7402	E-mail	tokotoko@npo-you.or.jp
管理者	十都 敦子	児童発達支援管理責任者	十都 敦子
職員配置	7.3名(常勤換算)	予定利用者数	18名(1日当たり平均10名)
<p>事業の概要</p> <p>発達支援が必要な幼児に対して、個々に合わせた配慮や工夫がある環境の中で、日常生活体験を通して、「できること」「わかること」を増やし、コミュニケーション力、社会性、意欲、自己肯定感を育む療育を提供する。また、子どもの姿、できるためのコツを掴み、サポートの方法をご家族と共有していく。また、関係機関、保護者と連携しながら、次の段階へと移行支援を行い、切れ目のない支援となるよう取り組んでいく。</p>			
事業所の基本方針	発達支援が必要な子どもに対し、アセスメントに基づき、個々の特性、発達段階に配慮した取り組みを行い、「わかる」「できる」を保障することで成長を促していきます。		
	発達支援が必要な子どもに対し、人が好きと思ってもらえる関わりを重視していきます。		
	発達支援が必要な子どもに対し、楽しいと思える活動、達成感のある活動を提供します。		
	発達支援が必要な子どもに対し、自分の思いを伝える術を教え、叶えられる経験を積み、コミュニケーションの力を育むことを重視します。		
	子どもへの理解を保護者の方と一緒に深め、今の生活の充実と少し先を見通した子育て支援を行います。		
事業所の重点目標	保護者と子どもの現状をこまめに情報交換し、目標や関わり方を共有し、特性理解も一緒に行い、保護者が主体的に子育てを行うための支援を行います。		
	保護者会を計画的に行い、保護者の障がい理解や学習を進めていきます。		
	仕事の効率化、システム化・組織的な活動を整え、過度な負担なく仕事ができ、継続可能な体制を整えます。		
	スタッフのアセスメント力を高め、日常の中でアセスメントの機会を取り入れ、アセスメントに基づいた個別支援と子どもの自立活動を増やします。		
	担当を中心に、スタッフ同士の情報共有を活発にし、子どもとご家族の「今」に対応した支援を行える体制作りを行います。		
	関係機関、保育所等訪問支援や相談支援事業所等と連携しながら療育を行っていきます。		

事業所名	豊川市児童発達支援施設 ひまわり園	事業種別	児童発達支援 保育所等訪問支援
住所	〒442-0863 豊川市平尾町諏訪下 5		
T E L	0533-88-7281	E-mail	himawari@npo-you.or.jp
管理者（園長）	丸山 尚美	児童発達支援管理責任者	森川 せつ子 丸山 尚美
職員配置	9.7名（常勤換算）	予定利用者数	1日当たり平均 20名
<p>事業の概要</p> <p>ひまわり園は、発達が気になるお子さんと保護者が一緒に通いながら、子どもの育ちや課題を共有し、その子に合った関わり方を見つけていきます。楽しく親子で触れ合えるように子どもの年齢や発達に応じた4コース（2歳児、2歳児待機、園・児発併用午前、園併用午後）を設定し、サービスの提供をしていきます。</p> <p>訪問コースでは、併用または単独で通園している保育園や幼稚園に訪問して、日常生活の場での子どもの様子を確認し、現場の職員と課題を共有して支援の方向性を考え訪問支援を行っていきます。</p> <p>今年度もコース担任制を取り入れ、より丁寧な保護者支援を行っていきます。</p> <p>また、関係機関との連携にも引き続き取り組んでいきます。</p>			
事業所の基本方針	発達ที่気になるお子さんとその保護者の方が通いながら、お子さんに合わせた関わり方や子育てのコツを伝えていく。		
	様々な活動とそれぞれに応じた経験や学習の機会を提供し、その中でお子さんと保護者の気づきが得られるように支援していく。		
	通園を通して保護者の悩みや将来のこと等を考え合う機会を用意する。相談できる人、子どもの育ちを一緒に見守ってくれる人がいることで、保護者が少しでも育児に前向きになれるよう支援していく。		
	子育てに必要な学びや他機関の情報提供を行い、子どもに合った育ちの場を選べる環境を提供していく。		
	保育所等訪問支援事業では、必要に応じて保育園や幼稚園に通園しているお子さんに対して日常生活の場面でより学びのある時間になるように関係機関相互の理解と信頼関係を築いていく。		
事業所の重点目標	「子どもとの関わり方がわからない」という保護者には、具体的な子どもとの関わり方や遊び方の見本を見せて伝えていく。保護者ができそうなことややってみたいと思いきょうなことをイメージしながら関わり方を伝え、保護者の自信につながるようにサポートしていく。		
	保護者と子どもとのアタッチメント形成を支えていくため、スタッフが子どもの「かわいさ」をたくさん伝えていく。また子どもがどのように発達していくのか、その道筋を示すことで少しでも育児の見通しを持つことができるようにしていく。		
	保育所等訪問支援や家庭連携加算で併用している保育園や幼稚園に訪問し、子どもの心の声や支援の方向性を共有し、連携を密にしていく。		

事業所名	ゆうサポートセンター いまーじゅ	事業種別	児童発達支援
住所	〒442-0066 豊川市金屋元町一丁目 60 番地 1		
TEL	0533-65-8325	E-mail	you-suppo@npo-you.or.jp
管理者	豊田 和浩	児童発達支援管理責任者	大橋 美保（鈴木 弥聡）
職員配置	1.4 名（常勤換算）	予定利用者数	15 組（1 日当たり平均 3 組）
<p>事業所の概要</p> <p>1 日に 3 組の親子に対して、スタッフ 2 名で対応する親子通園。特に、大集団の中では学びにくく、小集団や個別対応での学びを必要としているお子さんへの丁寧な療育を行い、子どものできること、分かることを増やしていく。また、日々コツの必要な子育てをしている保護者が前向きに子育てできるように、保護者自身が子どもの姿や心の声に気づけるような療育を提供する。</p>			
事業所の基本方針	発達支援が必要な子どもの保護者に対し、子どもとの関わり方や考え方のコツを伝えることや、子どもの行動の背景・心の声について一緒に考えていく機会をすることで、前向きな子育てを応援する。		
	発達支援が必要な子どもに対し、丁寧なアセスメントをすることで、子どもの芽生えや興味関心、適切な環境設定や工夫を見つける。		
	発達支援が必要な子どもに対し、アセスメントに基づく個別に合わせた活動を行うことで、子どもの「できた」「分かった」経験を作り、自己肯定感を育む。		
	発達支援が必要な子どもに対し、人と関わったら良かった経験を通し、人への信頼感を育む。		
	発達支援が必要な子どもに対し、人に伝えたら願いが叶った経験を通し、コミュニケーション力を育む。		
事業所の重点目標	「できた」「よかった」「分かった」経験を作るために、保護者と子どもの心の声に耳を傾ける。		
	保護者に、子どもとの関わり方のコツをより知っていただくために、いまーじゅの中で実際に保護者が子どもに対応する機会を増やす。スタッフが対応している時も随時ポイントをお伝えする。		
	子ども達がさまざまな経験を積めるように、個々に合わせた新しい活動や季節の行事を計画し、取り組む。		
	業務の分担を検討し、スタッフ全員が無理なく働ける体制を整えていく。		

事業所名	ゆうサポートセンター ほっとそっと	事業種別	放課後等デイサービス
住所	〒442-0066 豊川市金屋元町一丁目 60 番地 1		
TEL	0533-65-8325	E-mail	you-suppo@npo-you.or.jp
管理者	豊田 和浩	児童発達支援管理責任者	大橋 美保
職員配置	3.1名（常勤換算）	予定利用者数	1日当たり7名
事業所の概要 1日定員7名の放課後等デイサービス。大集団では学びにくい子どもたちに対し、小集団の中で社会的なルールや人との関わり方を学び、褒められることで自信をつけていく場を提供する。また、学校や家で頑張っている子どもたちが、放課後の余暇活動ができる場を提供する。			
事業所の基本方針	支援を必要とする子どもたちが、将来、人を信頼しながら、自分も他者も大切に生きていけるために、人への信頼感、自己肯定感、コミュニケーションする力を育てる機会を提供する。		
	支援を必要とする子どもたちが地域の中で自信を持って生きていけるために、コミュニケーションを練習する場、社会的なルールを学ぶ場、余暇活動に取り組む場を提供する。		
	支援を必要とする子どもたちが地域の中で自信を持って生きていけるために、保護者が効果的な関わり方を学べるように、スタッフから効果的な関わり方を伝え、保護者が相談できる機会を設ける。		
事業所の重点目標	子どもたちがより学びのある放課後を送るために、事業所の構造化が不十分なところは構造化し、既に構造化されているところは、どのような目的があって設定されているのかを再確認し、必要に応じて再構造化を行う。		
	スタッフが無理なく仕事を続けられるために、業務の見直しや効率化を行う。その上で、子どもたちの「楽しい」を作るために、さまざまな活動の機会を作る。		
	子どもたち同士でやりとりできる機会を増やすため、活動の設定や内容について検討する。		
	保護者が相談しやすい環境を整える。		

事業所名	ゆうサポートセンター じょいん	事業種別	保育所等訪問支援
住所	〒442-0066 豊川市金屋元町一丁目 60 番地 1		
T E L	0533-65-8325	E-mail	join@npo-you.or.jp
管理者	豊田 和浩	児童発達支援管理責任者	大橋 美保
職員配置	0.5 名（常勤換算）	契約者数	50 名
事業の概要 発達につまづきのあるお子さんが、地域の集団の中でその子らしく学びながら過ごしていけるよう、 集団生活の場に出向いて訪問し、支援を行う。それぞれのお子さんの困り感とその子にあった対応方法 を学校の先生と共有することで地域の中で適切な配慮を受けながら過ごしていけるように支援を行う。 現在豊川市内の小学校に通っているお子さんの保護者と契約し、訪問支援を行っている。			
事業所の基本方針	利用児が学びある学校生活を送れるために必要なことを先生・保護者と共有する。		
	地域啓発の支援を持って事業運営を行う。		
	保護者ニーズだけではなく、本人及び周りの関係者のニーズについても意識し、広い視野を持って支援を行う。		
	本人の心の声を周囲の関係者に伝え、本人主体の支援を行うと同時に周りの子ども達にとってもメリットある支援方法の提案を行う。		
事業所の重点目標	小学校との連携を丁寧に進めていくと共に学校教育課との更なる情報共有の強化に努める。		
	訪問支援のマニュアル作りを進めていく。		
	必要なお子さんには他事業所のスタッフに訪問同行の機会を積極的に図る。		
	限られた時間の中で効率よく支援を届ける工夫を行う。		

事業所名	相談支援 Kids ふぁ～すと	事業種別	障がい児相談支援 特定相談支援
住所	〒442-0066 豊川市金屋元町一丁目 60 番地 1		
T E L	0533-65-8325	E-mail	kids@npo-you.or.jp
管理者	荻野 ます美		
職員配置	常勤 1 名 非常勤 1 名	契約者数	57 名
<p>事業の概要</p> <p>相談支援 Kids ふぁ～すとは、市の指定を受けた相談支援事業所です。平成 27 年 4 月開所で令和 3 年 3 月現在 57 名の方の計画相談を行っています。基本相談についても随時お受けしています。</p> <p>「障害があるとかないとか関係なく、まず一人のかけがえのない大切なお子さんとして関わる」ことを基本理念とし、発達支援が必要なお子さんとそのご家族にとって適切な療育環境・適切な学びの環境が整うように、お子さんやご家族のニーズを踏まえ、関係機関（行政・医療機関・通所支援事業者等）と連携し、情報提供・助言を行うことで、そのお子さんらしい健やかな育ちを応援していきます。</p>			
事業所の基本方針	ご家族がお子さんにとってより適切な療育環境を選べるために、気づきの段階からの相談支援を行います。		
	ご家族がお子さんにとっての適切な学びの環境を整備できるように適切な情報を提供し相談支援を行います。		
事業所の重点目標	豊川市児童発達相談支援センターとの連携及び協力体制を構築する。		
	S V と O J T で、初回面談・基本相談もできる相談員を育成する。		
	事業継続のために、勤務時間内で業務を終了するようにする。		
	児相や要対協との役割を整理し、協力体制がとれるようにする。		

事業所名	ゆうショートステイ とれ☆きゃん	事業種別	短期入所、日中一時支援
住所	〒442-0857 豊川市八幡町大宝山 10 番地 166		
T E L	0533-56-7412	E-mail	traican@npo-you.or.jp
管理者	豊田 和浩		
職員配置	4.5名（常勤換算）	契約者数	22名
事業の概要 <p>ショートステイとれ☆きゃんは、利用者さんの生活を応援するための施設です。自宅で生活できなくなった時の一時的な利用から、将来を見据えた生活の場のトレーニングとして活用していただけるように、アットホームな雰囲気を大事にしながら、利用者さんの要望をお聞きして利用の形態を一緒に考えています。日中一時支援では、放課後等デイサービスの環境になじめない利用者さんのレスパイトサービスから長期休暇のレスパイトサービスまで対応していきます。現在人員が少なく、期待に浴えないことも多いですが、生活を支えるための砦となっていけるように事業を進めていきます。</p>			
事業所の基本方針	利用者の想いに寄り添っていくこと		
	家族の想いに耳を傾けること		
	チームで支援にあたること		
	安心のできる環境作り		
事業所の重点目標	カンファレンスの定期開催		
	地域生活支援拠点の登録		
	保護者懇談会の定期開催		
	行政との関係強化		
	支援の手順書などマニュアルの整備		

本部・事務局体制

法人運営体制として以下の通りとする。

本年度も円滑な法人運営のための事務局運営を行う。

人員

理事	理事長	豊田 和浩
事務局	常勤職員	1名、非常勤職員 2名
社外契約顧問	労務関係	舟越社会保険労務士行政書士事務所 舟越正行 先生 豊川市豊川町辺通4番地の4（豊川商工会議所3F）
	税務会計関係	トライアングル林幸弘税理士事務所 林幸弘 先生 豊橋市曙町字若松44番地の10

会議等

必要により会議を行う。定期会議は以下の通り。

会議	参加者	日時等
総会	正会員	5月29日
理事会	理事 豊田 和浩 理事 荻野 ます美 理事 高瀬 佐代子 理事 都築 裕之 理事 鈴木 真紀子 理事 今泉 良子 理事 大谷 由紀 理事 松原 宏昌 理事 鈴木 大順 監事 神谷 典江	年4回（予定）

会議	参加者	日時等
現場責任者会議	理事長 豊田 和浩 ヘルパーステーション 門之園 由美 どーや 岡部 祥子 とれ☆きゃん 三倉 拓己 牧野 春希 とことこ 十都 敦子 ひまわり園 丸山 尚美 じょいん 太田 章乃 いまーじゅ 鈴木 弥聡	月2回

	ほっとそっと Kidsふぁ～すと	大橋 美保 荻野 ます美	
各事業所スタッフミーティング	各事業所スタッフ		月1回以上

委員会・研修等

今年度の委員会については以下の通り

委員会名	
研修委員会	年4回以上
虐待防止委員会	毎月 随時
安全衛生委員会	年4回以上
防災委員会	年4回以上

今年度の研修予定については以下の通り。

研修名	日時・回数・参加者
スタッフ研修（全体）	毎月第2土曜日
新人研修	雇用後3ヵ月 3回以上
各事業所研修	各事業所 月1回以上
外部資格取得研修（移送、サービス管理責任者等資格取得）	数名
外部支援技術研修（PECS、TEACCHなど）	//
外部研修（セミナー、フォーラムなど）	//